

活性化とは

→ にぎわい創出とは? 各人で違うからこそ、集めてビジョンとしてなぜ馬尺周辺?

→ 福山馬尺周辺、伏見町等での成果 → 若者が増えた結果
松永らしさとは

・「にぎわい」=定義がない「人、モノ、コ」つながっている
→ お金の流れをどうしていくか? 「にぎわい」に繋がるのでは。

にぎわい創出とは?

・「駅前」と限定すると難しい。

南口の活性化に併い北口廃れ

松永全体の活性化 → 馬尺前

松永府中線の整備(活性化しやすい)

↳ 期待ほどの効果がない(信号)

認知されていない

北側の商店街をどうにかしたい

なにを活性化とするか(人の交流? 交通?)

・未来会議 1つのグループにまわってまわって上手いのか?
若い人が起業するような機運を

・若者が北口で立ち寄る所がなく寂しい。

ドンキ:新規客が

南側:話をせず買い物

北側:徒歩圏内で全てそろ

→ 人と人のつながりがお馬尺周辺に

・北口商店街だけだった昔

→ 南口が出来て寂れたのでは

北口:馬車場がない(共用の)
はきもの資料館

未来会議へ期待することは?

「ハコ・モノ、北口アキド = 組合の所有(土地は市)
土地の活用がしにくい(地主、権利関係)

・未来会議から出てくるものに期待を
今後のスケジュール感は?

→ ビジョンの策定は年度末目途
だが、急いで作るものではないため、
年度越すとも考えられる。

予算は?

→ イベント、実証実験等に使う

→ お金にたよることはたくない!
お金ない中で話し合いから
うまれる絆

・未来会議の公募の方法は?

→ 地域に根ざした活動団体へ
声をかけ、高校、大学へも。

・次世代の人との交流

(ゲタリペンでも交流難しかった)

週末(閑散)と平日の通勤通学
時間とは大きく異なる。

・話合うテーマを絞っては。

「よそ者」= 地域に根差ししていない
人からの意見

「若者」= 新しい発想

・松永馬尺を利用している感想を
聞いてみては。

・若者(学生)、女性の意見

方法論について

きいたんのお意見 → 議論のみ
構成の中に外国人をいれて